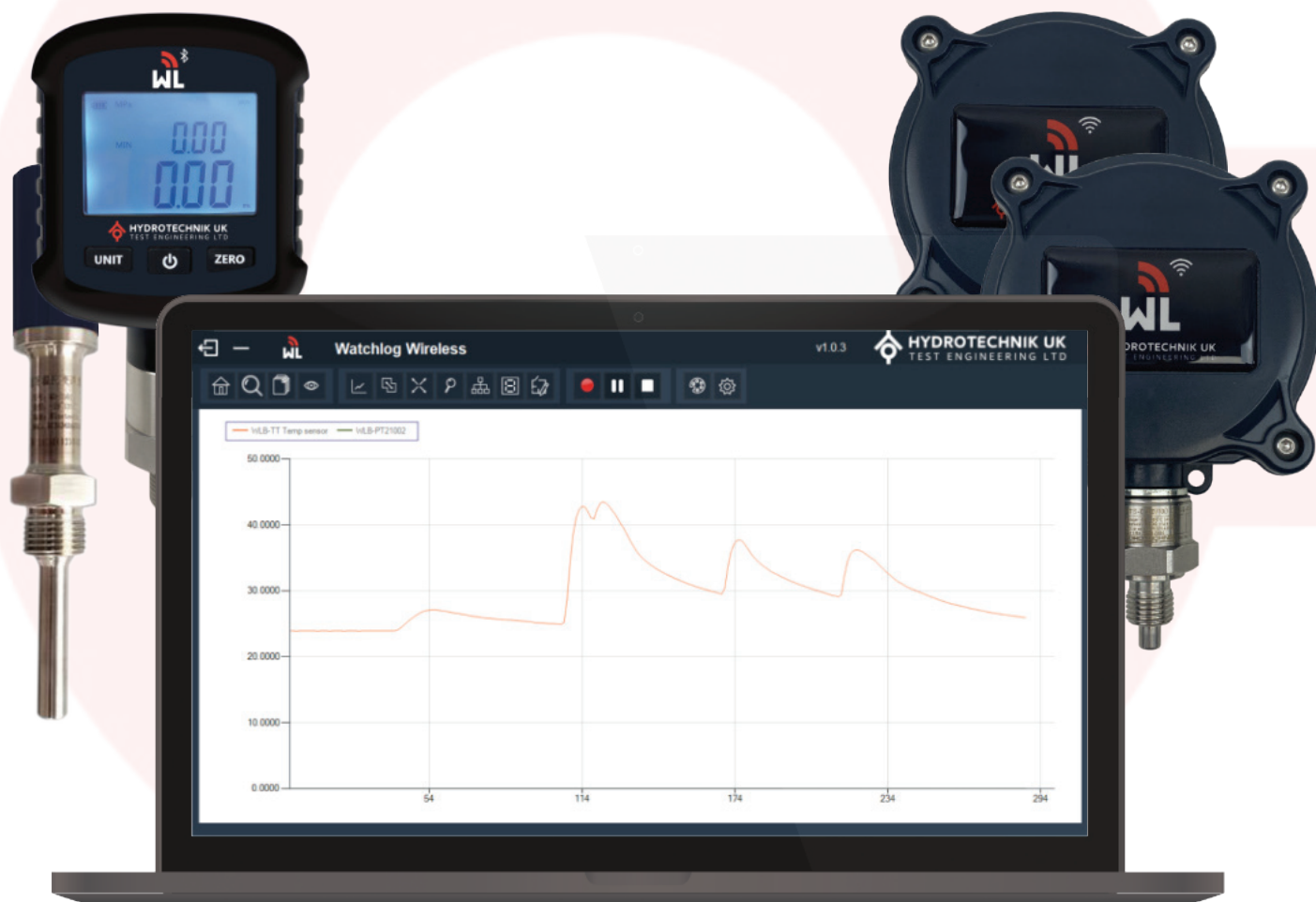


Watchlog Bluetooth・Watchlog Wirelessセンサー
に対応したMicrosoft Windows®用モニタリング
データロギングソフトウェア



Watchlog Bluetooth & Wireless Windows®ソフトウェア取扱説明書



コンテンツ一覧

ヘッドライン	3
最低システム要件	
前提条件とインストール	
ソフトウェアを開く	
Watchlog 視覚化ソフトウェアのインストール	
中距離無線またはBluetooth	
Bluetoothセンサー接続	
ワイヤレス（500m）センサーの選択	
メインツールバー詳細	4
使用開始	5
センサーを検索し、結果を視覚的に表示する	
各センサーを個別のグラフに分割する	7
グラフのズームとパンについて	7
詳細オプション	8
グラフ表示オプション	
接続されたセンサーの編集	
グラフスタイルのオプション	
テストの記録と保存	9
接続されたセンサーの測定値を表示する	9
過去のテストを呼び出して確認編集する	10
視覚化について	11

ヘッドライン

最低システム要件

仕様	詳細内容
サポートOS	Microsoft Windows 7
CPU	Intel / AMDデュアルコアプロセッサ
メモリー容量	2GB RAM
ハードディスクスペース	60MB (ソフトウェアインストール)
ディスプレイ解像度	1280 x 800
デバイスの接続	Bluetooth (Watchlog Bluetooth) / Wi-Fi (Watchlogワイヤレス)

前提条件とインストール

- .NET Framework 4.6.2 以上
- Microsoft Edgeの最新バージョン

同じフォルダにある新しいソフトウェアインストーラーバージョンの「Install」ファイルを実行します。画面の指示に従ってインストールを完了します。完了後、再起動は不要です。

ソフトウェアを開く

ソフトウェアは、デスクトップ アイコンまたはスタート メニューから実行できます。ソフトウェアが見つからない場合は、Windows ボタンを押して「Watchlog Wireless」と入力すると確認実行できます。

Watchlog Visualizer (視覚化)ソフトウェアのインストール (オプション)

ライブデータの表示と記録を目的として設計されており、詳細なレポートを作成するには、ソフトウェアからExcel用の.csvファイルにデータをエクスポートするか、視覚化・レポート作成ソフトウェアであるWatchlog Visualizerをお買い求めいただきインストールしてください。

同じフォルダ内にある新しいソフトウェアインストーラーバージョンの「Install」ファイルを実行します。画面の指示に従ってインストールを完了してください。完了後、再起動は不要です。本ソフトウェアと詳細については、本書内でご確認ください。

中距離ワイヤレスモデルとBluetoothモデル

本ソフトウェアは、Watchlog ワイヤレス中距離(500m)とWatchlog Bluetooth対応圧力・温度センサー (20m) の両方で動作するように設計されています。2種類のセンサータイプを切り替えるには、設定を参照してください。

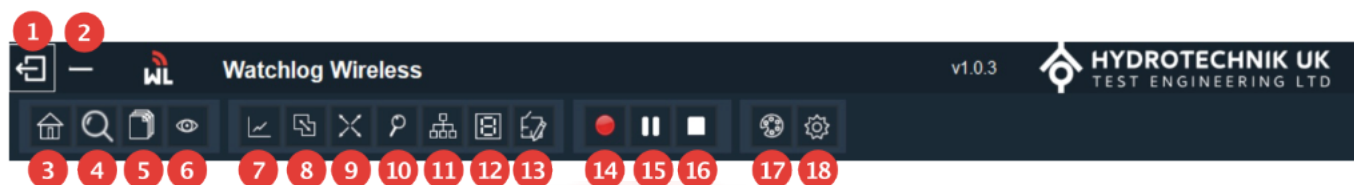
Bluetoothセンサー接続

職場環境には、PC、プリンター、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチなど、多数のBLE対応デバイスが存在する可能性がありますので、接続するBluetoothセンサーを検索する際には、遅延が発生する可能性があります。ソフトウェアには、Watchlogデバイスをスキャンしてペアリングする内部フィルタリングシステムが搭載されていますが、近接するデバイスの数によっては、この処理に最大120秒かかる場合がありますのでご注意ください。

ワイヤレス (500m) センサーの選択

専用のUSB受信機をPCに設置することで、ワイヤレスセンサーをより迅速に検出できるようになります。

メインツールバーのオプション

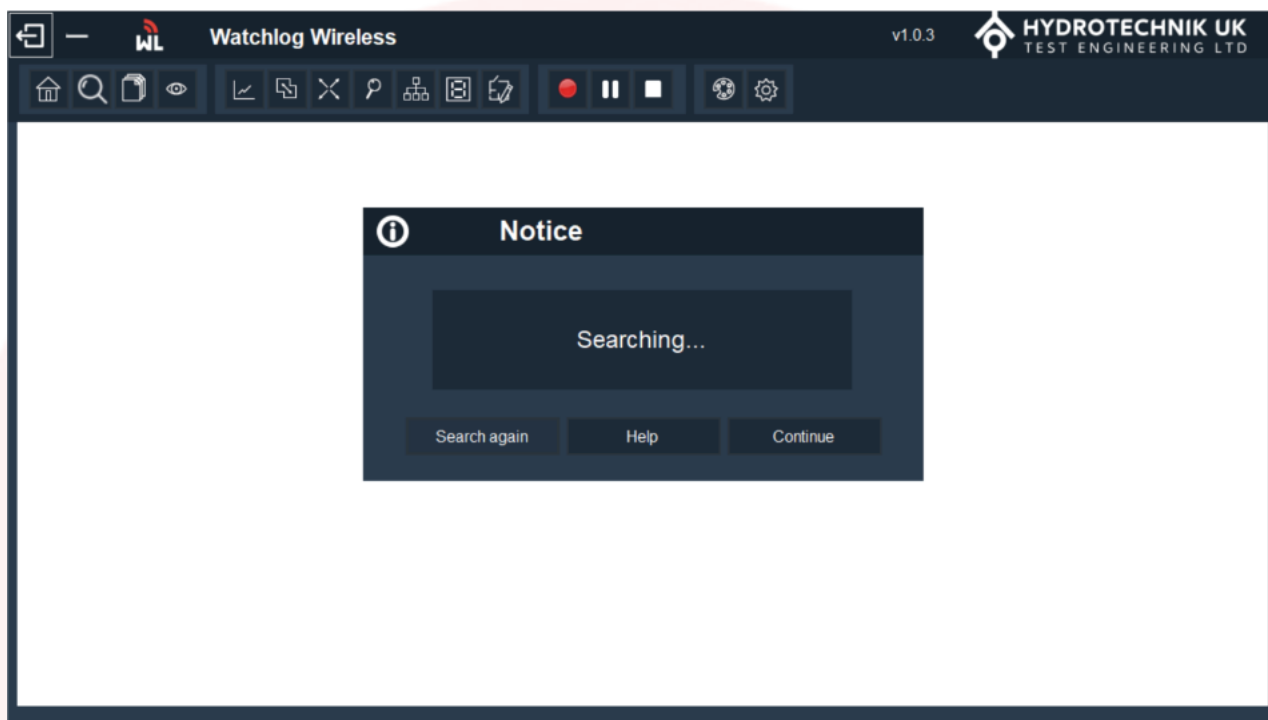


- 1 終了 – アプリケーションを閉じます
- 2 最小化 – アプリケーションを非表示にします。タスクバーから再び表示します
- 3 ホーム – メインアプリケーション画面を視覚化します
- 4 Bluetoothまたはワイヤレスセンサーを検索します（設定17をご参照ください）
- 5 過去テストのリストを表示する
- 6 選択したセンサーの表示と非表示、名前の変更、色の選択、最小/最大表示の許可、視覚化表示からの追加/削除
- 7 センサーデータをすべて1つのグラフで視覚化表示します
- 8 接続されたセンサーを個別のグラフに分割する
- 9 グラフのリセット: 完全なデータ表示に戻る（例: ズームした後）
- 10 グラフをズームまたはパンする
- 11 接続されたセンサーの表示
- 12 接続センサー数を数値で表示する
- 13 視覚化: センサー数を回路図または画像の上に、重ねて表示します
- 14 記録を開始
- 15 記録を一時停止
- 16 記録を停止
- 17 グラフテーマ設定: グラフの前景・背景、接続されたセンサー
- 18 設定: ワイヤレスまたは Bluetooth、スキャン速度の設定（最速がプリセット）、最小/最大化、表示/非表示

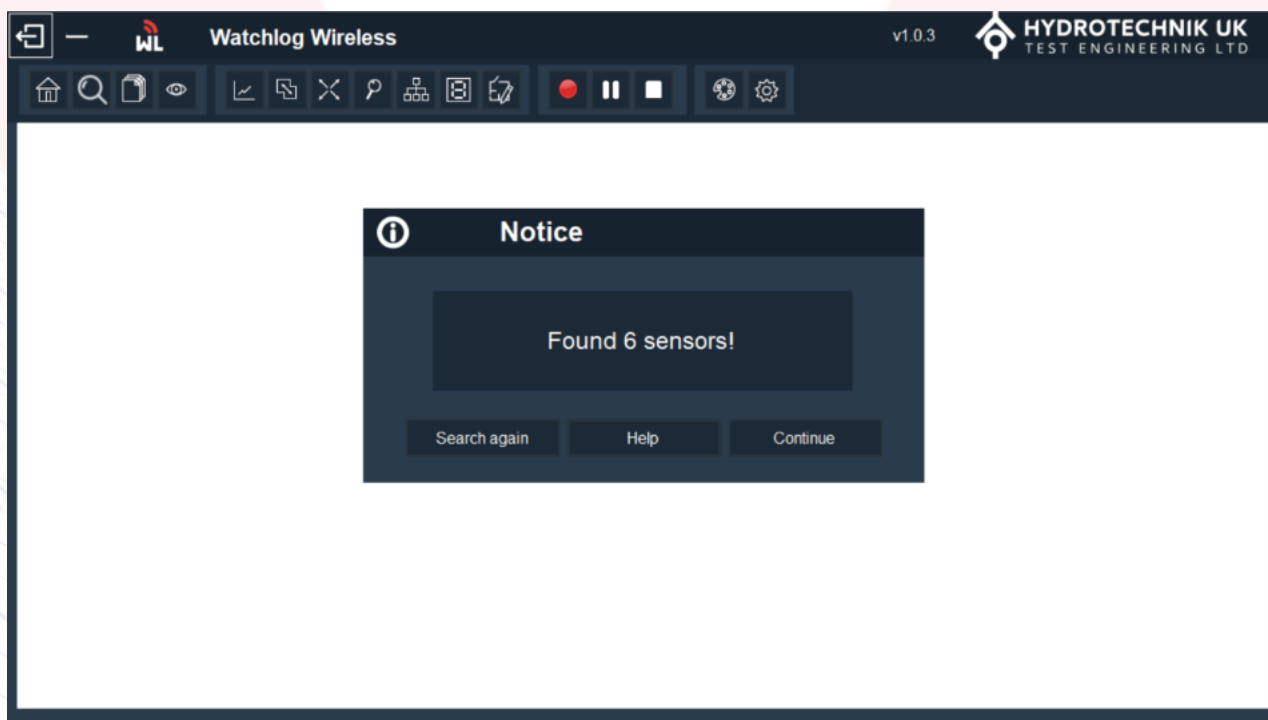
使用開始

センサーを検索し、結果を視覚化表示する

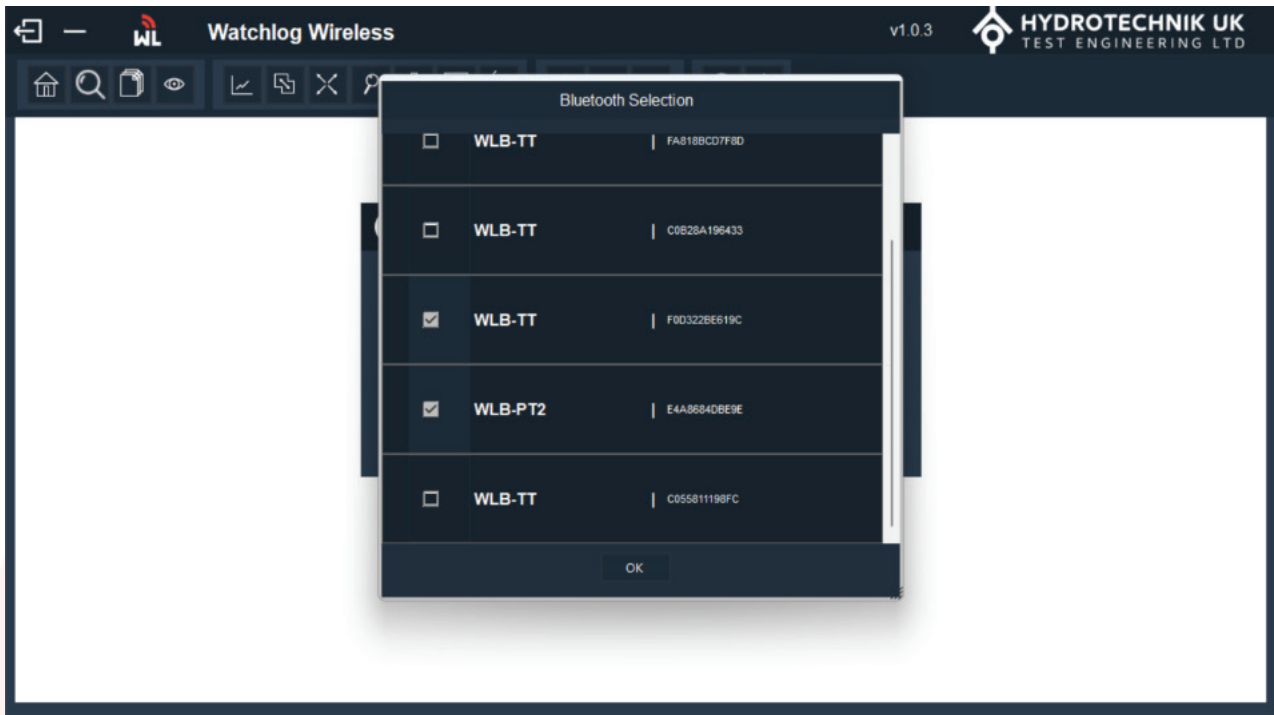
接続するセンサーは、Bluetoothまたは中距離ワイヤレスを選択保存した後に使用する必要があります。前述のように、Bluetooth センサーを検索する際は、ソフトウェアがBluetoothセンサー以外のすべてをフィルターする必要があるため、遅延が発生する可能性があります。



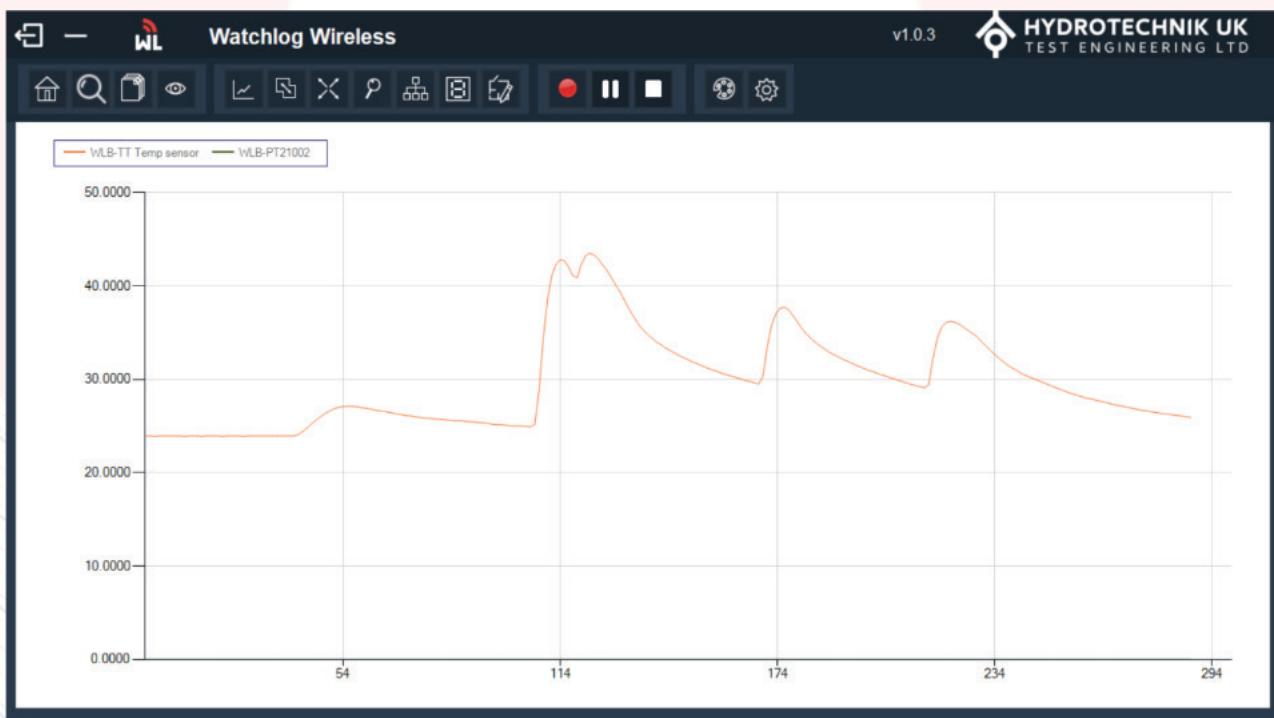
検知可能なセンサーの数に応じて、次の通知が表示されます。



接続するセンサーにチェックを入れてください



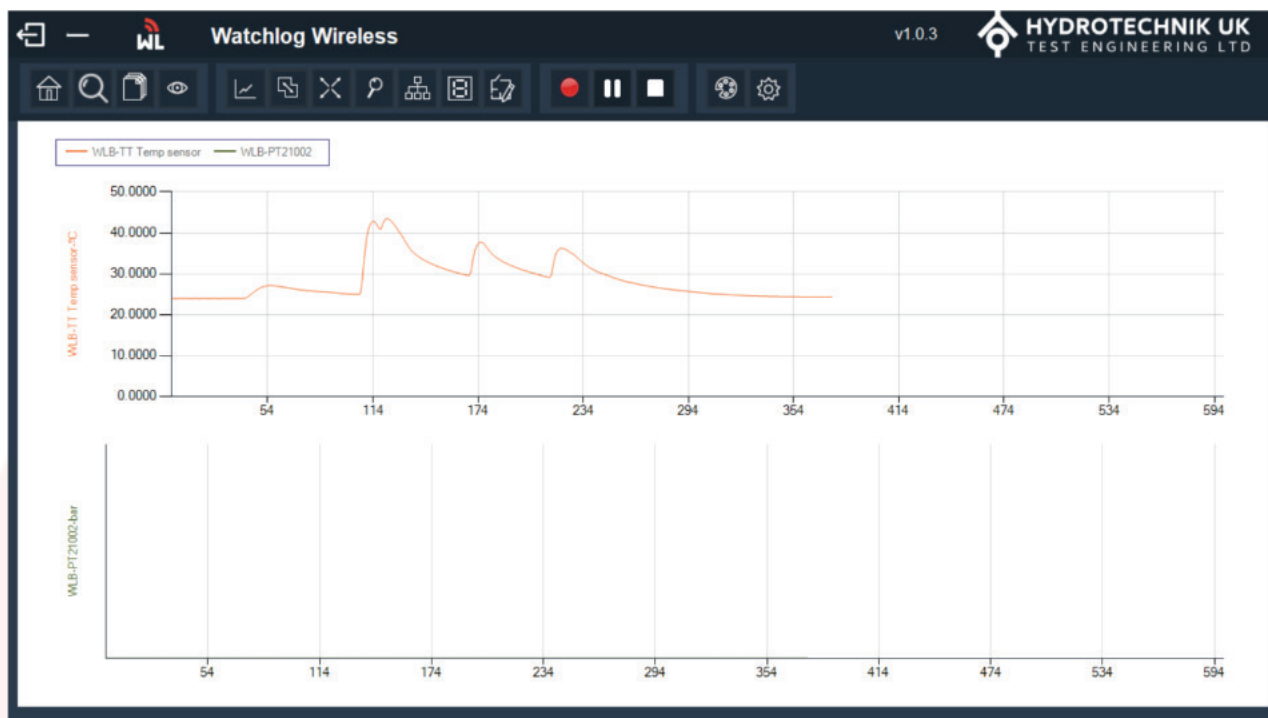
選択後、画面上にセンサー測定値がグラフで表示されます



注) 接続されたセンサーは最初に5分間のデータを表示し、その後5分ごとにデータを増やしながらテスト全体を表示します

各センサーを個別のグラフに分割する

分割ボタン  (8) を選択すると、センサーの読み取り値が個別のグラフに分割されます

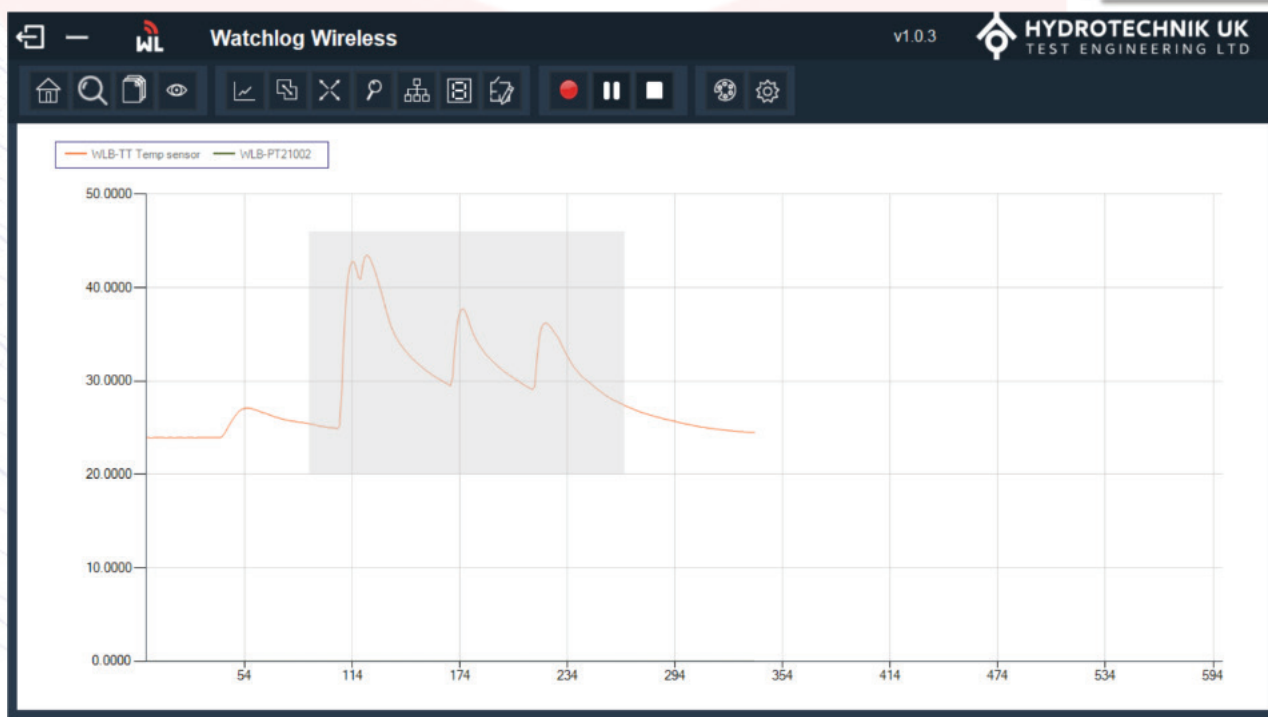
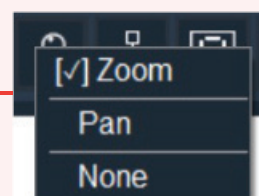


グラフのいずれかの箇所をダブルクリックすると、個別に表示できます

グラフ ボタン  (7) を選択すると、すべてのセンサーが 1 つのグラフに表示されます

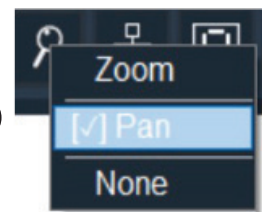
グラフのズームまたはパン

虫眼鏡ボタン  (10) を選択して、ズームまたはパンのモードを選択します
下図のようにズームを選択した状態で、ズームする領域を強調表示します



ズーム後にパンモードに切り替えて、ズーム/パンオプション(10)のパンオプションを使用してグラフ内を移動します。

元の表示に戻り、ズームモードを終了するには、グラフリセットボタン  (9) を選択します



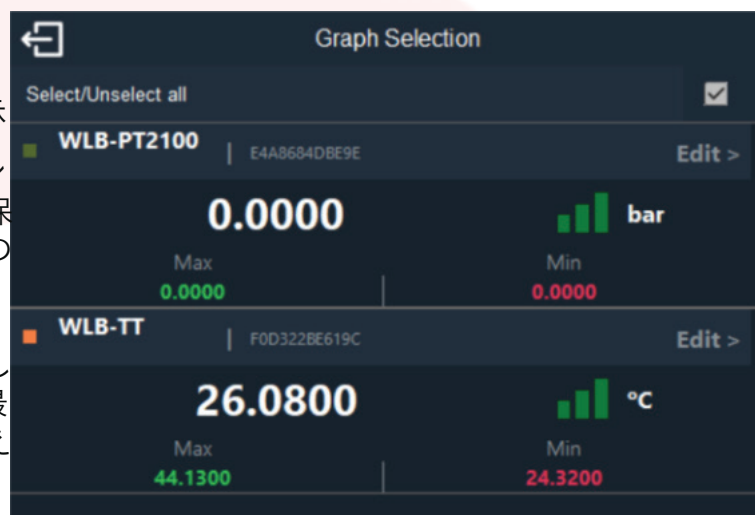
詳細オプション

グラフ表示オプション

スタイル ボタン  (6) をクリックすると、グラフ選択オプション (右側に表示) が表示

「Edit >」 ボタンをクリックすると、センサー名を変更できます。変更は永続的に保存され、このセンサーを使用するすべてのテストに影響します。

また、各センサーのグラフ線の色を変更したり、センサーグラフの表示/非表示、最小値/最大値の有効化/無効化もここで行えます。

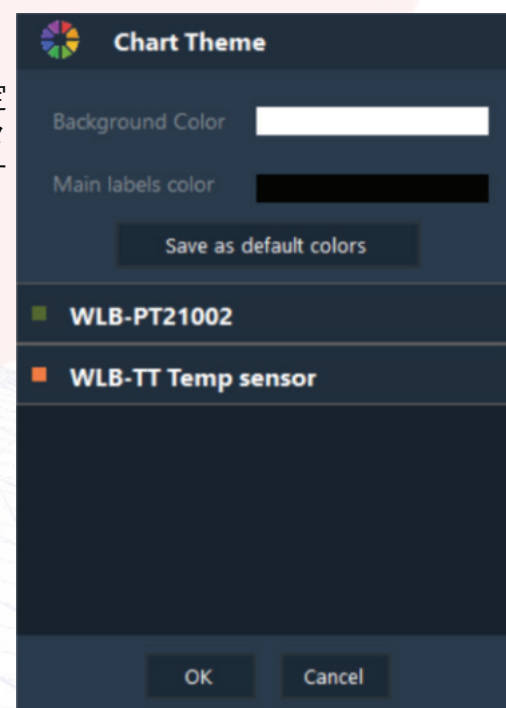


接続されたセンサーの編集

接続センサーボタン  (11) は、現在ソフトウェアに接続されているすべてのセンサーを表示し、グラフ選択設定と同様に、ここでセンサーの名前を変更できます。また、ここからセンサーをゼロにすることもできます。

グラフスタイルのオプション

グラフテーマ設定ボタン  (17) をクリックするとテーマ設定 (右側に表示) が開き、背景色、ラベル色、センサーデータの色を設定できる他、これらの設定を新しいグラフで使用するデフォルトの色として保存することもできます。



テストの記録と保存



重要な注意事項:

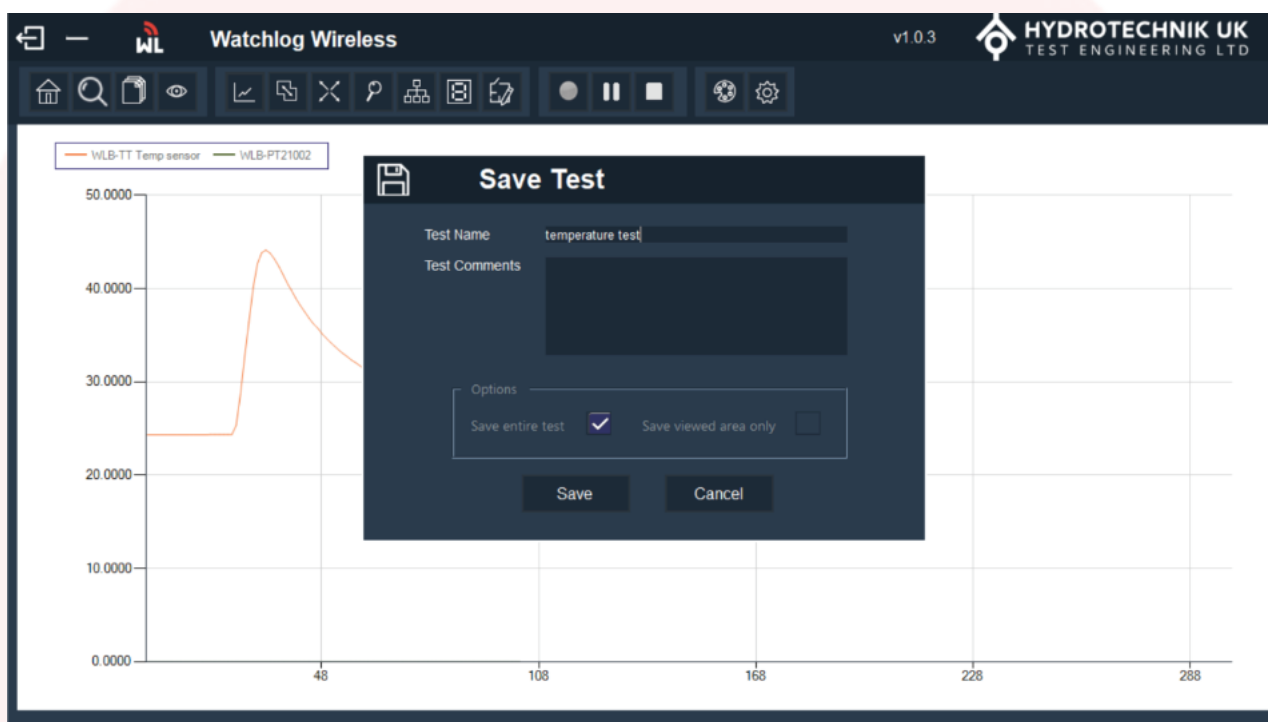
接続されたセンサーは、デフォルトではグラフと数値で表示されますが、保存されません。

記録ボタン  (14) を押すと、データの記録が開始されます

緑色の背景  は、録音中であることを示しています

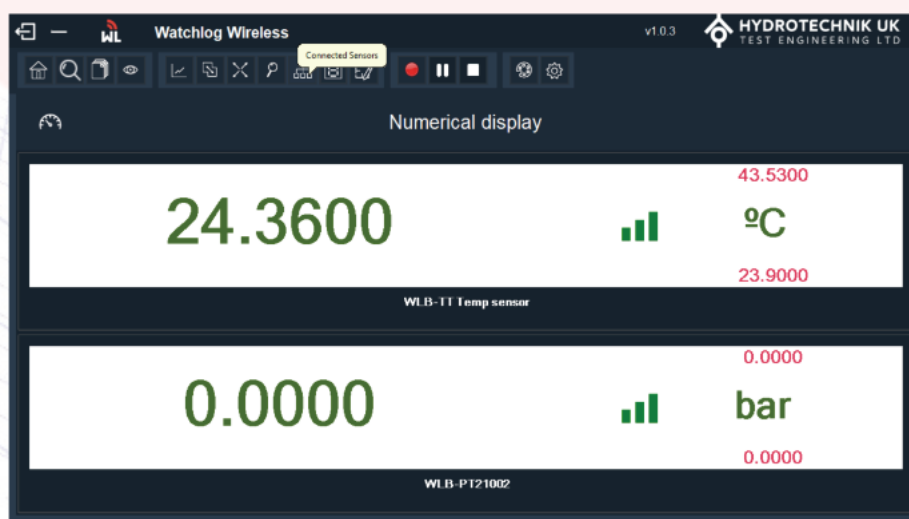
録音を一時停止または停止するには、「Pause」ボタン  (15) と「Stop」ボタン  (16) を使用します

録画を停止すると、テスト名の入力を求められます。この名前は、保存したテストを後日検索する際、参照するために使用します



接続されたセンサーの測定値を表示する

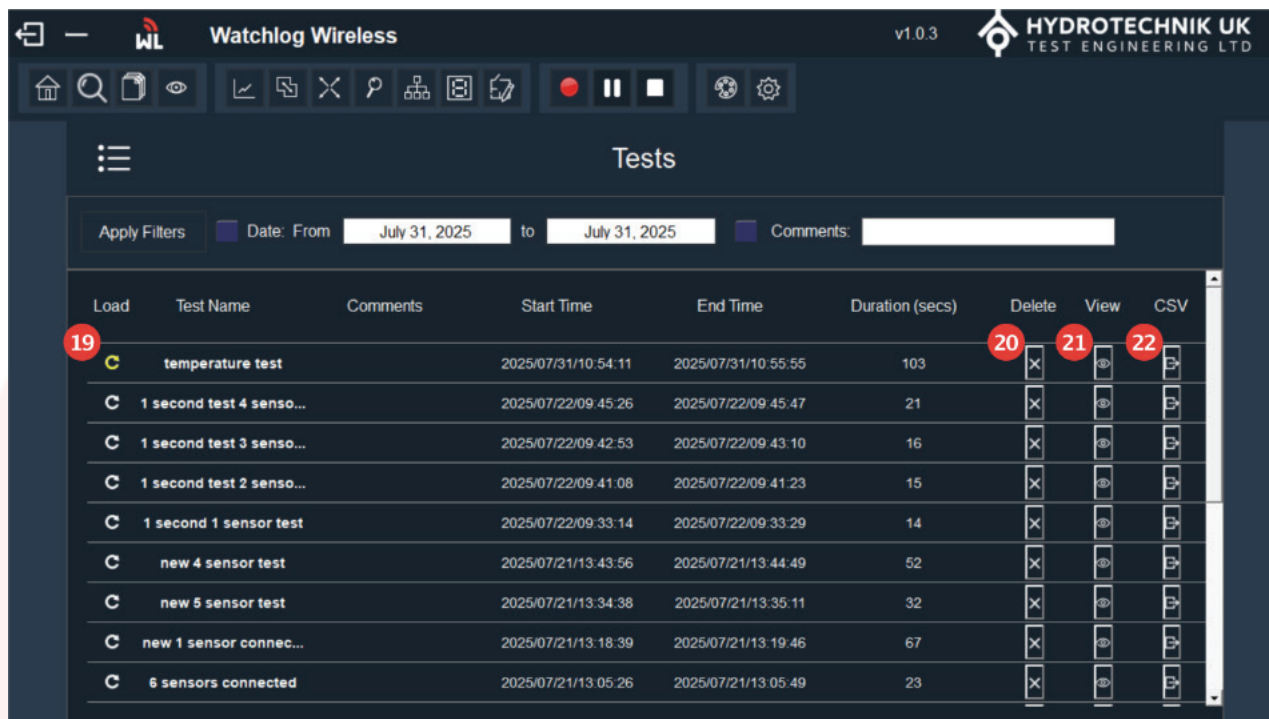
接続されたセンサーは、数値ボタン (12) を押すことで数値で表示されます



過去のテストを呼び出して確認編集する

以前保存したテスト結果にアクセスするには、テスト呼び出しボタン  (5)を押します

保存されたテストは日付順に表示されます。テストリストの上にあるフィルターを使用すると、テストの日付範囲などを指定して、以前に保存したテストを絞り込み表示できます。



The screenshot shows the 'Tests' section of the Watchlog Wireless software. It includes a filter bar with 'Date: From July 31, 2025 to July 31, 2025' and a 'Comments' field. Below is a table of tests with columns: Load, Test Name, Comments, Start Time, End Time, Duration (secs), Delete, View, and CSV. The first row is highlighted with a red circle 19 next to the 'Load' column (containing a 'C' icon) and red circles 20, 21, and 22 next to the 'Delete', 'View', and 'CSV' buttons respectively.

Load	Test Name	Comments	Start Time	End Time	Duration (secs)	Delete	View	CSV
C	temperature test		2025/07/31/10:54:11	2025/07/31/10:55:55	103	X	👁	📄
C	1 second test 4 senso...		2025/07/22/09:45:26	2025/07/22/09:45:47	21	X	👁	📄
C	1 second test 3 senso...		2025/07/22/09:42:53	2025/07/22/09:43:10	16	X	👁	📄
C	1 second test 2 senso...		2025/07/22/09:41:08	2025/07/22/09:41:23	15	X	👁	📄
C	1 second 1 sensor test		2025/07/22/09:33:14	2025/07/22/09:33:29	14	X	👁	📄
C	new 4 sensor test		2025/07/21/13:43:56	2025/07/21/13:44:49	52	X	👁	📄
C	new 5 sensor test		2025/07/21/13:34:38	2025/07/21/13:35:11	32	X	👁	📄
C	new 1 sensor connec...		2025/07/21/13:18:39	2025/07/21/13:19:46	67	X	👁	📄
C	8 sensors connected		2025/07/21/13:05:26	2025/07/21/13:05:49	23	X	👁	📄

リストの各行は、測定テストごとに表示されています。各行に用意されている4つのボタンを使用して、下記内容を実行できます。

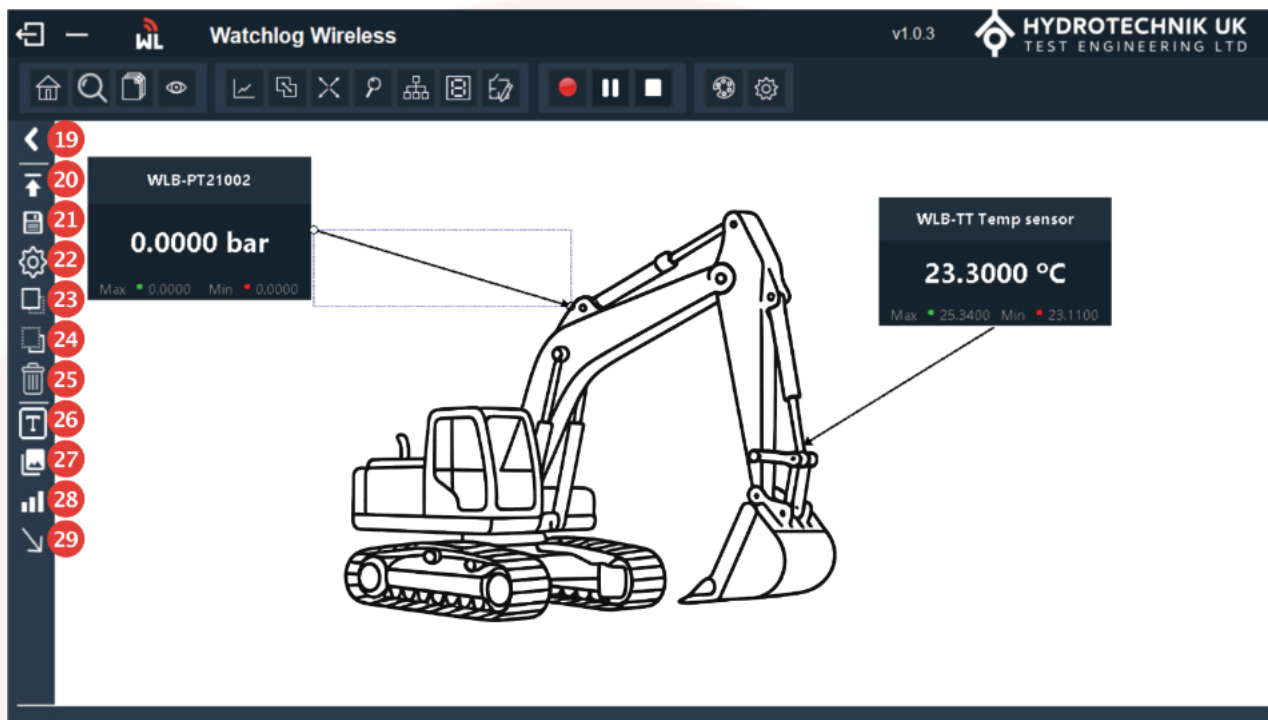
- 19 ロード: テスト名の左側にある呼び出しボタン  を使用してテスト結果を呼び出します
- 20 削除: テストを完全に削除します
- 21 表示: テストを Windows 用 Watchlog CSV Visualizer(視覚化)ソフトウェア (購入済みでインストールされている場合) にデータを書き出して、詳細分析やレポート作成が可能です
- 22 CSVエクスポート: テストデータを、CSVファイル形式で保存できます

視覚化について

様々な機能により、各センサーの測定値を画像や回路図に重ねて表示できます。自由度が高く、画像や図面に接続されたセンサーを追加することで、下図のようなレポートも作成できます。



注: 接続されたセンサーには、ライブ読み取り値が表示されます



画面左側に表示されているツールボタンには、下記の機能が用意されております。

- 19 デザインモードに入る
- 20 以前に作成したレイアウトを読み込む
- 21 作成したレイアウトを保存する
- 22 プロパティの表示/非表示、色/線のフォントの変更など
- 23 選択したアイテムを最前面に移動する、または最背面に移動する
- 24 選択したアイテムをキャンバスから削除する
- 25 キャンバスにドラッグしてテキスト/説明を追加します
- 26 キャンバスにドラッグして背景画像または回路図を追加します
- 27 キャンバスにドラッグして接続されたセンサーを追加し、ライブ読み取り値を表示します
- 28 キャンバス上にドラッグして、センサーが接続されている場所を正確に線を描きます